



## 平成26年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 フューチャーアーキテクト株式会社

コード番号 4722 URL <http://www.future.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 金丸 恭文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中島 由彦

TEL 03-5740-5724

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日

平成26年9月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	16,372	20.9	1,875	19.5	1,882	10.9	1,031	0.6
25年12月期第2四半期	13,545	21.7	1,570	116.7	1,697	111.1	1,037	123.8

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 1,013百万円 (6.8%) 25年12月期第2四半期 1,087百万円 (126.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	23.11	
25年12月期第2四半期	23.20	

(注) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	19,501	13,703	69.4	303.50
25年12月期	19,225	13,047	67.1	288.99

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 13,543百万円 25年12月期 12,895百万円

(注) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期		750.00		8.00	
26年12月期		8.00			
26年12月期(予想)				9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成25年12月期の第2四半期末の配当金につきましては、当該分割前の金額を記載しております。

(注2) 平成26年12月期(予想)の期末配当金9円の内訳につきましては、普通配当8円、創業25周年記念配当1円になります。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	11.1	4,000	19.3	4,040	17.0	2,280	12.4	51.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、  
税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	47,664,000 株	25年12月期	47,664,000 株
期末自己株式数	26年12月期2Q	3,040,800 株	25年12月期	3,040,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	44,623,200 株	25年12月期2Q	44,727,079 株

(注) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想数値及び将来に関する記載は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基いており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 受注の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は16,372百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益は1,875百万円（同19.5%増）、経常利益は1,882百万円（同10.9%増）、四半期純利益は1,031百万円（同0.6%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ITコンサルティング事業及びパッケージ&サービス事業が順調に推移したほか、株式会社eSPORTSの連結寄与等により、前年同期比で連結売上高・連結営業利益・連結経常利益が増加いたしました。連結営業利益・連結経常利益は、第2四半期連結累計期間としての過去最高値を更新しました。（税金等調整前四半期純利益についても前年同期比で14.4%増加しておりますが、前第2四半期連結累計期間は子会社との合併による繰越欠損金を引き継いだ関係で租税負担が少なかったこと等により、税金を加味した四半期純利益では前年同期比で減少となりました。）

各セグメントの業績については以下のとおりです。なお、文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

#### ① ITコンサルティング事業

当社において、業務改革を伴うITシステムの刷新・統合に関するプロジェクトが引き続き順調に進捗しました。その他のプロジェクトにおいても、顧客との中長期的な信頼強化が受注に繋がったことにより、前年同期比で売上が着実に増加いたしました。稼働率が向上していることや、人件費以外の販管費の低下等により、前年同期比で営業利益も増加しました。

東南アジアのビジネスについては、各国とも顧客数は着実に増え、ライセンス販売以外のITサービス収入が増加しました。その中でマレーシア・タイ子会社の収益が改善したことにより、合計の営業利益も前年同期比で増加しました。

この結果、売上高は9,959百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は1,664百万円（同19.8%増）となりました。

#### ② パッケージ&サービス事業

FutureOne株式会社は、複数の主要プロジェクトが稼働を開始したほか、消費税率改正対応等による案件増加もあり、前年同期と比較して売上・利益とも増加しました。株式会社アセンディアも、プロジェクトの獲得や進捗が順調であったことにより、前年同期と比較して売上・利益とも増加しました。

この結果、売上高は2,515百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は211百万円（同66.1%増）となりました。

#### ③ ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、スポーツ・アウトドア用品のネット販売が好調に推移したことに加え、フィットネス商品（「ワンダーコア」）をブームに先駆けて仕入・販売したことが奏功し、売上・利益とも順調に推移しました。一方、東京カレンダー株式会社は、下期にリリース予定の新しいネットサービス・雑誌のリニューアル等の先行投資により、一時的に赤字幅が拡大しました。

この結果、売上高は1,967百万円（前年同期比975.3%増）、株式会社eSPORTSののれん償却額を反映した営業利益は20百万円の損失（前年同期は8百万円の損失）となりました。

なお、株式会社eSPORTSの連結子会社化に伴い、前第3四半期連結累計期間から「ニューメディア&ウェブサービス事業」を新たなセグメントとして追加し、同社及び前第2四半期連結累計期間において「その他」で集計していた東京カレンダー株式会社を当該セグメントにて集計しております。前年同期比については、前第2四半期連結累計期間の数値（東京カレンダー株式会社のみ）をセグメント変更後の数値に組み替えた上で比較を行っております。

#### ④ 企業活性化事業

食品スーパーを営む株式会社魚栄商店において、店舗スペースの効果的な活用等により、売上は前年と同程度を確保しましたが、人件費の増加や電力料金の値上がり等の販管費の増加により、営業利益は減少しました。

この結果、売上高は2,249百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は3百万円（同92.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ276百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金（前連結会計年度末比△421百万円）が減少した一方、現金及び預金（前連結会計年度末比+614百万円）が増加したこと等によるものであります。

また、負債は5,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円減少いたしました。その主な要因は、買掛金（前連結会計年度末比△290百万円）や未払法人税等（前連結会計年度末比△209百万円）が減少したこと等によるものであります。

なお、純資産は13,703百万円となり、前連結会計年度末に比べ656百万円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金（前連結会計年度末比+674百万円）が増加したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額1,078百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益を1,884百万円計上したことや売上債権の減少額393百万円等により、1,184百万円の収入（前年同期は1,638百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出90百万円や敷金及び保証金の差入による支出104百万円等により、196百万円の支出（前年同期は1,072百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払357百万円等により、362百万円の支出（前年同期は488百万円の支出）となりました。

これら営業活動、投資活動、財務活動等の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ662百万円増加し、7,555百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期通期の業績予想につきましては、前回発表（平成26年4月25日付）の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,892,910	7,507,571
受取手形及び売掛金	4,330,728	3,909,044
有価証券	1,865	49,822
商品及び製品	462,055	532,916
仕掛品	107,765	176,213
未収入金	1,541,943	1,344,814
繰延税金資産	217,576	226,973
その他	434,919	672,557
貸倒引当金	△11,388	△11,242
流動資産合計	13,978,375	14,408,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,228,480	3,309,650
減価償却累計額	△2,782,062	△2,820,978
建物及び構築物（純額）	446,418	488,671
土地	109,474	109,474
その他	1,956,834	2,018,110
減価償却累計額	△1,555,282	△1,623,848
その他（純額）	401,551	394,262
有形固定資産合計	957,444	992,407
無形固定資産		
のれん	823,705	692,408
ソフトウェア	703,544	633,998
その他	21,480	20,492
無形固定資産合計	1,548,729	1,346,899
投資その他の資産		
投資有価証券	1,757,591	1,672,003
敷金及び保証金	951,363	995,164
繰延税金資産	25,518	66,684
その他	55,626	66,803
貸倒引当金	△49,582	△47,218
投資その他の資産合計	2,740,517	2,753,438
固定資産合計	5,246,691	5,092,745
資産合計	19,225,067	19,501,417

フューチャーアーキテクト株式会社（4722）平成26年12月期第2四半期決算短信（連結）

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,660,351	1,369,784
短期借入金	35,000	30,000
未払金	774,748	658,189
未払法人税等	1,024,280	814,454
賞与引当金	167,483	144,620
品質保証引当金	12,109	36,240
プロジェクト損失引当金	173,600	155,194
ポイント引当金	2,439	2,615
その他	959,622	1,181,251
流動負債合計	4,809,634	4,392,350
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,000,000
資産除去債務	357,691	395,391
その他	10,239	10,043
固定負債合計	1,367,931	1,405,435
負債合計	6,177,566	5,797,786
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,421,815	1,421,815
資本剰余金	2,495,772	2,495,772
利益剰余金	10,506,520	11,180,974
自己株式	△1,540,983	△1,540,983
株主資本合計	12,883,124	13,557,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,158	47,997
為替換算調整勘定	△74,683	△62,481
その他の包括利益累計額合計	12,475	△14,484
少数株主持分	151,900	160,536
純資産合計	13,047,500	13,703,631
負債純資産合計	19,225,067	19,501,417

フューチャーアーキテクト株式会社（4722）平成26年12月期第2四半期決算短信（連結）

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）
売上高	13,545,437	16,372,849
売上原価	8,660,952	10,744,423
売上総利益	4,884,484	5,628,425
販売費及び一般管理費		
役員報酬	150,264	159,744
給料及び賞与	1,507,845	1,576,499
研修費	88,071	86,526
研究開発費	32,950	57,648
減価償却費	51,306	51,092
採用費	134,406	152,608
その他	1,349,466	1,668,586
販売費及び一般管理費合計	3,314,311	3,752,705
営業利益	1,570,173	1,875,719
営業外収益		
受取利息	984	1,034
受取配当金	24,290	25,516
持分法による投資利益	24,216	404
為替差益	70,414	—
その他	9,037	12,531
営業外収益合計	128,943	39,487
営業外費用		
支払利息	248	4,840
為替差損	—	26,345
自己株式取得費用	1,005	—
その他	411	1,247
営業外費用合計	1,665	32,434
経常利益	1,697,451	1,882,773
特別利益		
投資有価証券売却益	66,418	—
関係会社株式売却益	—	2,138
持分変動利益	3,099	—
特別利益合計	69,517	2,138
特別損失		
固定資産除却損	105,816	—
減損損失	13,813	—
特別損失合計	119,630	—
税金等調整前四半期純利益	1,647,338	1,884,912

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）
法人税等	593,787	844,656
少数株主損益調整前四半期純利益	1,053,551	1,040,255
少数株主利益	15,718	8,815
四半期純利益	1,037,832	1,031,440
少数株主利益	15,718	8,815
少数株主損益調整前四半期純利益	1,053,551	1,040,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,557	△39,211
為替換算調整勘定	△32,097	13,039
持分法適用会社に対する持分相当額	17,215	△966
その他の包括利益合計	33,675	△27,138
四半期包括利益	1,087,226	1,013,116
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,068,033	1,004,481
少数株主に係る四半期包括利益	19,193	8,635

フューチャーアーキテクト株式会社（4722）平成26年12月期第2四半期決算短信（連結）

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,647,338	1,884,912
減価償却費	177,338	203,488
減損損失	13,813	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,883	△2,510
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,512	△22,170
品質保証引当金の増減額（△は減少）	△1,144	24,131
プロジェクト損失引当金の増減額（△は減少）	10,900	△18,405
事務所移転費用引当金の増減額（△は減少）	△35,342	—
受取利息及び受取配当金	△25,275	△26,551
支払利息	248	4,840
持分変動損益（△は益）	△3,099	—
持分法による投資損益（△は益）	△24,216	△404
固定資産除却損	105,816	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△66,418	—
関係会社株式売却損益（△は益）	—	△2,138
売上債権の増減額（△は増加）	△104,671	393,279
たな卸資産の増減額（△は増加）	△30,685	△139,309
仕入債務の増減額（△は減少）	277,917	△285,318
その他	185,979	228,630
小計	2,129,128	2,242,472
利息及び配当金の受取額	25,675	26,414
利息の支払額	△248	△5,088
法人税等の支払額	△515,716	△1,078,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638,838	1,184,934

フューチャーアーキテクト株式会社（4722）平成26年12月期第2四半期決算短信（連結）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△192,833	△90,136
無形固定資産の取得による支出	△121,484	△30,428
資産除去債務の履行による支出	△12,500	—
投資有価証券の売却による収入	98,904	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△999,367	—
関係会社株式の売却による収入	—	25,000
敷金及び保証金の差入による支出	△945	△104,883
敷金及び保証金の回収による収入	153,088	974
その他	2,400	2,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,072,739	△196,732
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△243	△5,000
自己株式の取得による支出	△148,660	—
配当金の支払額	△339,174	△357,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△488,078	△362,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,816	37,241
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	105,837	662,617
現金及び現金同等物の期首残高	4,184,672	6,892,975
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,290,510	7,555,593

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

フューチャーアーキテクト株式会社（4722）平成26年12月期第2四半期決算短信（連結）

（セグメント情報等）

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	I Tコンサル ティング事業	パッケージ &サー ビス事業	ニューメ ディア&ウ ェブサー ビス事 業	企業活性化 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,299,357	1,808,187	182,328	2,255,564	13,545,437	—	13,545,437	—	13,545,437
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22,255	340,638	665	1,916	365,476	—	365,476	△365,476	—
計	9,321,612	2,148,825	182,994	2,257,481	13,910,914	—	13,910,914	△365,476	13,545,437
セグメント利益 又は損失(△)	1,388,797	127,372	△8,714	46,034	1,553,489	△969	1,552,520	17,652	1,570,173

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額17,652千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	I Tコンサル ティング事業	パッケージ &サー ビス事業	ニューメ ディア&ウ ェブサー ビス事 業	企業活性化 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,954,620	2,203,884	1,967,035	2,247,308	16,372,849	—	16,372,849	—	16,372,849
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,403	311,527	658	2,152	318,742	—	318,742	△318,742	—
計	9,959,024	2,515,412	1,967,693	2,249,461	16,691,591	—	16,691,591	△318,742	16,372,849
セグメント利益 又は損失(△)	1,664,131	211,626	△20,445	3,315	1,858,627	792	1,859,419	16,300	1,875,719

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額16,300千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更等）

前第2四半期連結会計期間において、株式会社eSPORTSの株式を取得し、連結の範囲に含めておりますが、前第3四半期連結会計期間において重要性が増したため、「ニューメディア&ウェブサービス事業」セグメントを新たに追加して集計しております。また、前第2四半期連結累計期間において、東京カレンダー株式会社の事業を「その他」で集計しておりましたが、報告セグメントの追加に伴い、「ニューメディア&ウェブサービス事業」セグメントで集計するように区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング事業	9,652,772	6,929,808	9,952,872	6,827,573
パッケージ&サービス事業	1,932,439	1,096,099	2,551,955	1,515,848
ニューメディア&ウェブサービス事業	192,328	22,740	138,799	20,081
合計	11,777,540	8,048,648	12,643,626	8,363,502

(注1) 前第3四半期連結累計期間においてセグメントの変更を行っており、前第2四半期累計期間の金額は、変更後の報告セグメントの区分に組み替えて集計しております。

(注2) 受注高には為替レート変動に伴う金額調整分を含めております。